

報告書

2022 年 7 月 3 日

所属	山スクール トレッキング 2	氏名	TS
----	----------------	----	----

(1) 概要

日時	2022/7/3	場所	大阪府山岳連盟事務所
テーマ	登山時の知識や緊急時の対応等・夏山の気象・沢登り		
講師	氷見先生・阿麻橋先生・古谷先生・星島先生		
目的	山スクールT2座学④		

(2) 報告事項

講習内容&所感
<p>①氷見先生 読図、道迷い、熱中症、落雷、岩場通過、低体温症、パーティー運営、救急、夜間歩行とビバークについて、実際に体験された事例も説明いただいた。→読図では東西南北に置換え、地図で自分の現在地を把握できることが重要である。道の角度、谷の角度で判断することができる。道に迷った時の対処、コンパスで登山届を提出を忘れない、家族への連絡が大切であることが分かった。緊急時の対応は撤退、救助要請の判断、全員下山する判断の重要性、落雷時の姿勢のとり方について説明いただいた。パーティー運営ではCLの役割、全員で行動することが重要だと説明いただいた。具合の悪い人を見かけたときの声掛けは「痛い所はどこですか？」と掛ける。「大丈夫ですか？」と声を掛けると「大丈夫です。」と答えるので。</p> <p>②阿麻橋先生 夏山の気象について、雲や風について、前線、低気圧、高気圧、積乱雲について詳しく説明いただいた。→寒冷前線の時は積乱雲ができやすい、温暖前線はシトシト雨、閉塞前線は爆弾低気圧についていく前線、停滞前線は梅雨前線と説明いただいた。</p> <p>③古谷先生 沢登りについて、沢の魅力、楽しさ、危険について、説明いただいた。→沢登りは山の総合力が必要とされ、岩登りの技術、読図の能力が必要であると説明いただいた。</p> <p>④山検定の一部からテスト</p>
全体を振り返って
<p>座学で先生方から事例を交えての説明をいただき、読図の重要性、登山届の大切さを確認できました。自分やパーティーが無事下山できるために、知識、技術をつけないといけないと思いました。登山での天候判断は難しいと思いました。予報と実際では違うことも多いので、天候の悪い時でも対処できることが大切だと思いました。沢登りはアドベンチャー度がかかなり高そうなのでもっと技術をつけてからでないと難しいと思いました。最後のテストは山の知識の確認で面白かったです。読図についてはもっと勉強しなければと思いました。まだまだやらなければいけないことが多いです。</p>